

敬も、先輩の宗祇も、京都の連歌界から  
出発したのです。

しかし、連歌は、京都にいる将軍や貴族だけでなく、そのころ、地方にいてだんだんと実力をつけてきた大名や武士の間でも、さかんになっていきました。そこで、連歌師たちは各地を旅して、その土地の有力な大名などに連歌を教え、また、各地のすぐれた自然に接することによって、自分の連歌をみがいていったのです。そんな連歌師としての旅を続けていた途中で、江戸のあたりをめぐる

